

# 国際サービスシステム メンテナンスニュース

VOL.16

2001/9/30

国際サービスシステム(株)

今回は修理屋のノウハウともいえる簡単な故障事例及びトラブル解決法をご紹介します。ぜひ読んでほしいと思います。

## あなたにもできるトラブル解決法.故障診断の話

### 故障事例

どうも最近エンジンの吹けがまいちで、上り坂になると車速がのらないとお考えのあなた！

まずは**燃料エレメントを交換した覚え**がありますか？

そんなことで！とお考えになっているあなた、**現実に国際サービスは燃料エレメントを交換する事で、**

**そのようなトラブルを数多く解決**してきています。今の車両はエレメントの汚れを確認しにくい

カートリッジタイプになっています。それが盲点ともなり、このような修理事例が増加しているように

思います。燃料エレメントも当然定期的に交換するように、取り扱い説明書に明記してあります。

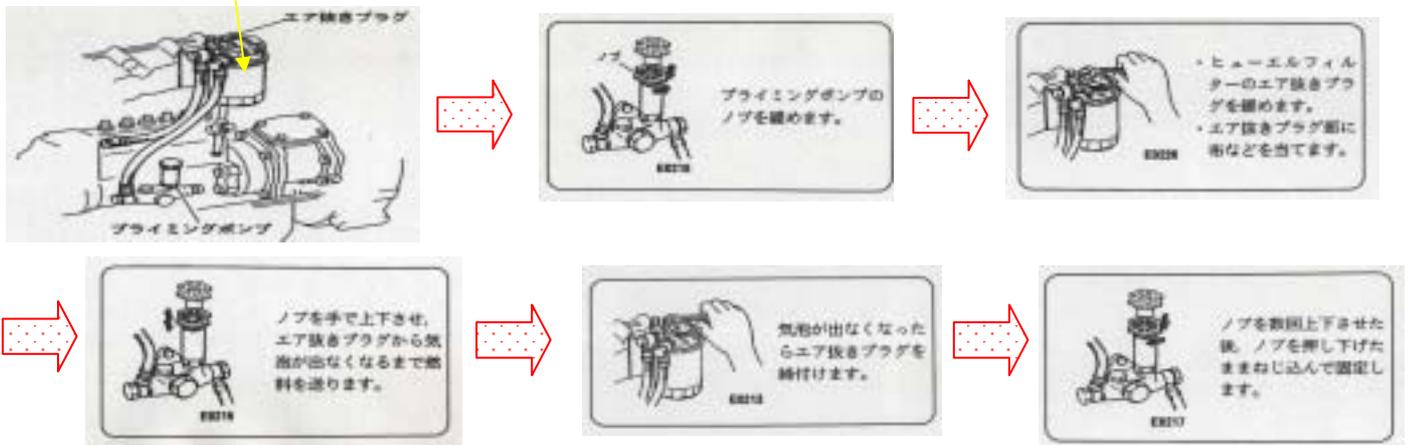
エンジンオイルを交換するばかりがメンテナンスではありません。定期的交換を必要としている

箇所は各部にあります。「そんなバカな！」と疑う前に燃料エレメントを交換した記憶をたどってみてください。

もし交換した記憶が薄れている場合、交換する事をお奨め致します。

**注意事項** 燃料エレメントを交換したさい燃料のエア抜きが必要です。(燃料を切らした場合も！)

下記の要領で燃料のエア抜きを実施してください。(エンジンの型式により他小差異があります。)



### 故障事例

どうも最近走行中の振動が気になったり、ガタ付きが激しくなってきたと感じているあなた！

まずは**タイヤが摩耗**していませんか？

最近のラフテレーンクレーンはどのメーカーも非常に高性能になりサスペンションの制御が複雑かつ精密になっています。そのためタイヤの摩耗による車高の変化等を感知してしまう事により、このようなトラブルが起きていていると思います。

実際にあった事例で、**タイヤを交換したことで、振動やガタ付きがピタット止まった事例**が多々あります。

摩り減ったタイヤを使用していると、制動距離が長くなったりいざというときスリップしたり決していいことはありません。使用限度に達しているタイヤは早期に交換する事をお奨め致します。

国際サービスはタイヤを格安でお客さまに販売しています。是非ご利用ください。

### 故障事例

走行中どうも車速がでない！どこか重要な箇所が故障したかな？と思いサイドミラーに目をやると

エンジンの排気が真っ黒だった！という経験はありませんか？

ディーゼルエンジンの排気が真っ黒になる主な原因は

1. **エアエレメントの詰まり**及びメンテナンス後のウエス等の置き忘れによる詰まり
2. 排気ブレーキの効きっぱなし 等が主な原因といったも過言ではないでしょう。

現実に黒煙を吹いて走れないという依頼で出張してみても、エアクリナーの中にウエスが詰まっていたという事例は数件あります。エアクリナー清掃後は置き忘れに十分注意が必要です。又エアエレメントも定期的に清掃し、限度に達したら交換をお願い致します。

もうお分かりの通り、「**故障の原因は日頃メンテナンスをする事で十分防止できる事**」がお分かりになったと思います。

転ばぬ先の杖という例えもある通り、**日頃のメンテナンスを行い快適な状態で機械をご使用ください。**

以上 ご不明な点、分からない事がありましたら国際サービスにご相談ください。